

名古屋市立大学 履修カルテ

フリガナ	
氏 名	
所 属	
学 籍 番 号	
在 籍 期 間	
取得予定免許種	中学校教諭一種免許状(数学) 高等学校教諭一種免許状(数学)

●「教科及び教科の指導法に関する科目」の履修状況

科目区分	科目名	担当教員名	修得 年度	単 位 数	成績 (点数)	成績 (評価)	学んだこと・課題
代数学	線形代数学Ⅰ	河田 成人	2024	2	100	秀	数ベクトル、行列、行列式について基本的な性質と計算方法を学んだ。応用として連立方程式の解法を勉強した。
	線形代数学Ⅱ						
	代数学Ⅰ						
	代数学演習Ⅰ						
	代数学Ⅱ						
	代数学演習Ⅱ						
	代数学Ⅲ						
	代数学演習Ⅲ						
	離散数学						
幾何学	数学序論						
	幾何学Ⅰ						
	幾何学演習Ⅰ						
	幾何学Ⅱ						
	幾何学演習Ⅱ						
	幾何学Ⅲ						
	幾何学演習Ⅲ						
解析学	解析学基礎						
	解析学Ⅰ						
	解析学演習Ⅰ						
	解析学Ⅱ						
	解析学演習Ⅱ						
	解析学Ⅲ						
	解析学演習Ⅲ						
	複素関数論						
	情報数学A						
「確率論、統計学」	統計学B						
	確率論						
	応用統計学						
	情報数学B						
コンピュータ	コンピュータリテラシー						
	コンピュータサイエンス						
	プログラミングⅠ						
	プログラミングⅠ 演習						
	プログラミングⅡ						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	数学教育法A						
	数学教育法B						
	数学教育法C						
	数学教育法D						

●「教育の基礎的理解に関する科目等」の履修状況

科目区分	科目名	担当教員名	修得 年度	単 位 数	成績 (点数)	成績 (評価)	学んだこと・課題
教育の理念 並びに教育 に関する歴 史及び思想	教育学概論2						
	教育史						
教職の意義 及び教員の 役割・職務 内容(チー ム学校運営 への対応を 含む。)	教職概論2						
教育に関す る社会的、 制度的又は 経営的事項 (学校と地 域との連携 及び学校安 全への対応 を含む。)	教育制度論						
	教育社会学						
幼児、児童 及び生徒の 心身の発達 及び学習の 過程	学校教育心理学						
特別の支援 を必要とす る幼児、児 童及び生徒 に対する理 解	特別支援教育2						
教育課程の 意義及び編 成の方法 (カリキュラ ム・マネジ メントを含 む。)	教育課程論						

●「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の履修状況

科目区分	科目名	担当教員名	修得 年度	単 位 数	成績 (点数)	成績 (評価)	学んだこと・課題
道徳の理論 及び指導法 (※中免のみ)	道徳教育						
総合的な学 習(探究)の 時間の指導 法・特別活 動の指導法	特別活動及び総合的な 学習の時間の指導法						
教育の方法 及び技術	教育方法論2						
情報通信技 術を活用し た教育の理 論及び方法	ICT活用教育論						
生徒指導の 理論及び方 法・進路指 導及びキャ リア教育の 理論及び方 法	生徒・進路指導論						
教育相談 (カウンセリ ングに関す る基礎的な 知識を含 む。)の理 論及び方法	教育相談						

●「教育実践に関する科目」の履修状況

科目区分	科目名	担当教員名	修得 年度	単 位 数	成績 (点数)	成績 (評価)	学んだこと・課題
教育実習	中学校教育実習						
	高等学校教育実習						
教職実践 演習	教職実践演習(中・高)						

●「大学が独自に定める科目」の履修状況

科目区分	科目名	担当教員名	修得 年度	単 位 数	成績 (点数)	成績 (評価)	学んだこと・課題
大学が独 自に定める 科目	介護等体験実習						

●「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」の履修状況

科目区分	科目名	担当教員名	修得 年度	単 位 数	成績 (点数)	成績 (評価)	学んだこと・課題
66条の6 に定める科目	日本国憲法						
	健康・スポーツ科学						
	健康・スポーツ実技						
	CS: Presentation						
	情報リテラシー						
	データサイエンス・リテラシー						

●必要な資質能力についての自己評価

※自己評価(5段階)は、教員になることを想定して「資質能力がない場合を1」とし、「資質能力がある場合を5」とする。

必要な資質能力の指標		自己評価(5段階で評価)※			
評価項目	質問事項	2024年度 (1年次)	2025年度 (2年次)	2026年度 (3年次)	2027年度 (4年次)
A.学校教育 についての 理解	【教職の意義】教職の意義や教員の役割、職務内容、生徒(子ども)に対する責務を理解していますか。				
	【教育の理念・教育史・思想の理解】教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。				
	【学校教育の社会的・制度的・経営的理解】学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。				
B.子供につ いての理解	【心理・発達論的な子ども理解】生徒(子ども)理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。				
	【学習集団の形成】学習集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。				
	【子どもの状況に応じた対応】いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子ども(生徒)の特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。				
C.他者との 協力	【他者意見の受容】他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。				
	【保護者・地域との連携協力】保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。				
	【共同授業実施】他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。				
	【他者との連携・協力】集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。				
	【役割遂行】集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。				
D.コミュニ ケーション	【発達段階に対応したコミュニケーション】生徒(子ども)たちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。				
	【子どもに対する態度】気軽に生徒(子ども)と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。				
	【公平・受容的態度】生徒(子ども)の声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。				
	【社会人としての基本】挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。				
E.教科・教 育課程に関 する基礎知 識・技能	【教科教育分野の理解】これまで履修した数学教育分野の科目の内容について理解していますか。				
	【教科書・学習指導要領】教科書や学習指導要領(数学編)の内容を理解していますか。				
	【教育課程の構成に関する基礎理論・知識】教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	【道徳教育(中免のみ)】道徳教育の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	【特別活動】特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	【総合的な学習の時間】「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。				
	【情報機器の活用】情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。				
	【学習指導法】学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。				

●必要な資質能力についての自己評価

※自己評価(5段階)は、教員になることを想定して「資質能力がない場合を1」とし、「資質能力がある場合を5」とする。

必要な資質能力の指標		自己評価(5段階で評価)※			
評価項目	質問事項	2024年度 (1年次)	2025年度 (2年次)	2026年度 (3年次)	2027年度 (4年次)
F.教育実践	【教材分析能力】教材を分析することができますか。				
	【授業構想力】教材研究を生かした授業を構想し、生徒(子ども)の反応を想定した指導案としてまとめることができますか。				
	【教材開発力】教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。				
	【授業展開力】生徒(子ども)の反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。				
	【表現技術】板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。				
	【学級経営力】学級経営案を作成することができますか。				
G.課題探求	【課題認識と探究心】自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。				
	【教育時事問題】いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。				

●教職に関する体験・実習等の状況

種別	体験・実習先等	実習教科／ 評価授業等	期間	学んだこと・課題

●教職を目指す上でさらに身につけなければならないと考えている事項

2024年度 (1年次)	
2025年度 (2年次)	
2026年度 (3年次)	
2027年度 (4年次)	

●教員コメント

対象年度(対象年次)	コメント	教員種別	教職員名
YYYY年度(N年次)			